

【呼吸器科】156-2【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

\*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
------	-----

医師名:	印
------	---

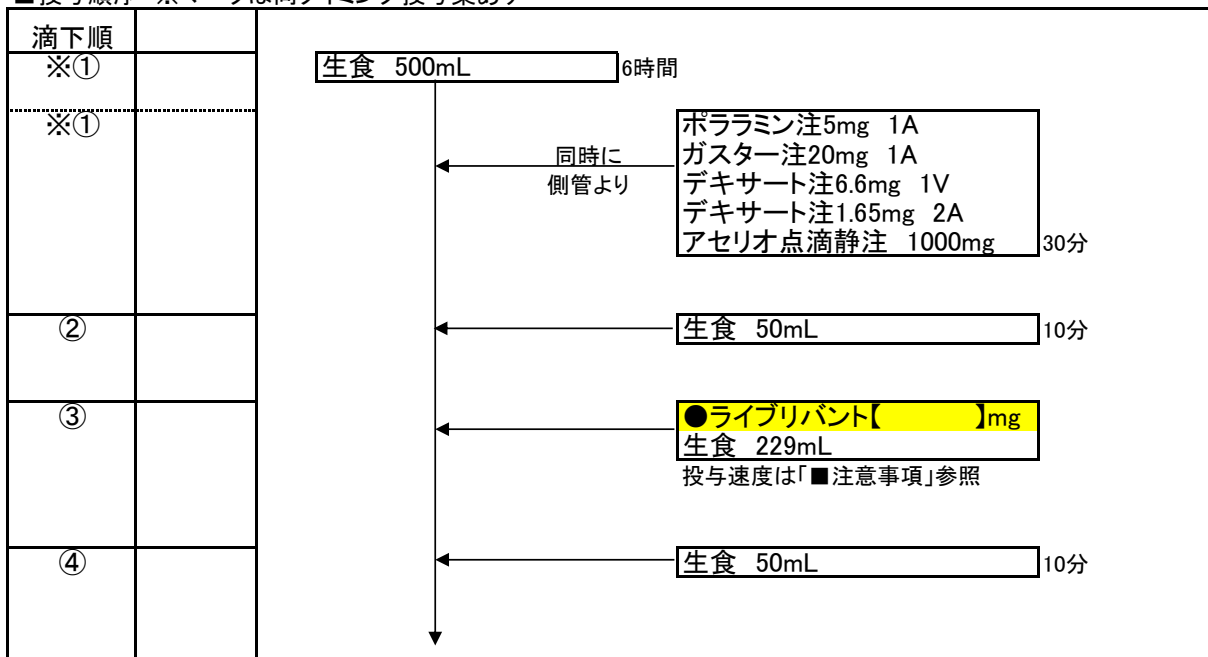
身長:	cm	体重:	kg
-----	----	-----	----

体表面積:	m <sup>2</sup>	Cr:	mg/dL
-------	----------------	-----	-------

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール :4週ごとを1コースとする

Day	1	2	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	/	/
ライブリバント	↓	↓	↓	↓	↓	
ラズクルース(経口)	経口・連日投与					

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり



■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
ライブリバント	《Day1》 350mg/body 《Day2》 1050mg/body 《Day8,15,22》 1400mg/body
ラズクルース	1回240mg 1日1回

薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- ライブリバントは調製後10時間以内に投与終了すること。
- 静脈血栓塞栓症の発症を抑制するため、投与開始後4カ月間は、エリキュース錠2.5mgを1日2回経口投与すること。
- 輸液ポンプを使用すること。
- ライブリバントの投与速度  
投与開始は35mL/時で開始し、Infusion reactionが認められない場合は、投与開始2時間後に50mL/時 に投与速度を上げることができる。
- infusion reactionが認められた場合は投与を中断し、症状が回復した場合、発現時の50%の投与速度で再開する。  
再開後の30分間にinfusion reaction の症状が認められない場合、中断時の投与速度まで上げることができる。  
その後の2時間以内にinfusion reactionの症状が認められない場合、同日に予定されていた最高速度まで上げることができる。  
infusion reactionによる投与中断・再開時に症状が再発した場合、投与中止を検討する。